

設計者CAEを活用した構造解析

NEW

概要

高精度・軽量化する製品開発の生産性の向上をめざして、構造の効率化、適正化、最適化（改善）に向けて、有限要素法の特徴を理解し、モデル化、境界条件設定、メッシュ分割による解析実習などを通して、構造設計における線形構造解析の活用、結果の評価法等を習得します。

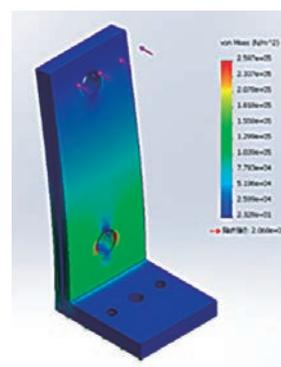
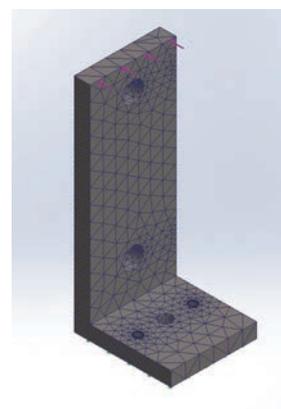
対象者

設計部門及び解析業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う方又はその候補者の方

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定員	受講料
4M005	8/29(土)、9/5(土)	9:00～16:00	2日	12H	10人	8,500円

内 容

1. コースの概要及び留意事項
 - (1) 訓練コースの概要説明
 - (2) 受講者が有する専門的能力の確認
 - (3) 安全上の留意事項
2. 設計と構造解析概論
 - (1) 設計とCAE
 - (2) CAEの長所と短所
 - (3) 有限要素法とは
 - (4) 強度設計の基本的立場
3. 有限要素法とメッシュ精度
 - (1) 有限要素の特徴
 - (2) フィレットと隅角部
 - (3) 解析結果の精度
4. モデル化
 - (1) ズーミング手法
 - (2) 形状の簡略化と精度
 - (3) 境界条件
5. 各種物理現象
 - (1) 構造解析の分類
 - (2) 形状の簡略化と精度
 - (2) 静解析と動解析
 - (3) 線形と非線形
 - (4) 固有値解析と線形座屈解析
6. ソルバ
 - (1) ソルバとは
 - (2) 計算処理について
7. 課題演習
 - (1) 穴あき平板モデル
 - (2) H型鋼の梁モデル
 - (3) 圧入モデル
8. 解析事例及びモデリング、評価
 - (1) 解析事例紹介
 - (2) CAE評価とレポートテクニック
9. 総合演習
 - (1) 強度設計検討実習
10. まとめ
 - (1) 質疑応答
 - (2) 訓練コース内容のまとめ



使用機器	3次元CAD / CAEシステム (Solid Works)、関数電卓		
使用テキスト	自作テキスト		
受講者持参品	筆記用具		
講師	北陸職業能力開発大学校 講師		
ステップアップ	設計者CAEを活用した機構解析 P富山	設計者CAEを活用した流体・熱流体解析 P富山	CAEにおける非線形解析を活用した構造解析技術 P富山
受講者の声	新規セミナーのため、受講者の声はありません。		
事業主の声	新規セミナーのため、事業主の声はありません。		